



三木合戦×謎解き 長治公とともに三木城下町を巡るリアル謎解きイベント

マップを手に「謎解き」を楽しみながら三木城下町を巡る体験型イベント。

別所長治が三木合戦の最中、現代にタイムスリップしてしまった。何が起きたかわからない長治公、城主がいなくなった三木城を助けるため、長治公とともに謎解きにチャレンジ！

＜マップの配布場所＞

神戸電鉄恵比須駅、みき歴史資料館、三木市観光振興課、
三木市観光協会

＜参加費＞無料

＜ご用意いただくもの＞

二次元コードが読み込めインターネットに接続できる情報端末、
筆記用具

＜スタンプラリーの問い合わせ先＞

三木市産業振興部観光振興課 0794-82-2000（内線 2515）

三木市立堀光美術館 企画展「野口雅史 鉛筆画展」～こころときめくモノクロの世界～

2月17日（土）～3月10日（日） 午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

入館無料 休館日：月曜日

猫や犬、静物などの質感を、鉛筆だけで表現した作品を描く作家、野口雅史さんの展覧会。

精密に描かれたモノクロの作品から、愛情と色彩があふれだす鉛筆画を展示します。

三木市立堀光美術館 三木市上の丸町 4-5 0794-82-9945

<https://www.city.miki.lg.jp/site/horimitsubijyutsukan/>

三木市立みき歴史資料館 企画展「三木の染形紙」

1月27日（土）～3月17日（日） 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

入館無料 休館日：月曜日 ※2月12日（月・祝）は開館、翌13日（火）は休館

藍染めの道具である染形紙（染め型紙）は、江戸時代の三木町の名産品でしたが、近年まで地域で忘れられた産業となっていました。

本企画展では、江戸時代後期から明治時代頃の染形紙を展示することにより、その技法やデザインについて紹介。令和4年11月に三木市指定有形民俗文化財となった「筒井俊雄氏所蔵染形紙」を中心に展示します。

企画展特別講演会も開催されます。

三木市立みき歴史資料館 三木市上の丸町 4-5 0794-82-5060

<https://www.city.miki.lg.jp/site/mikirekishishiryokan/>

レンタサイクル貸出中

*****レンタサイクル利用案内*****

- 利用料金 1日1,000円(税込)
- 利用時間 午前10時～午後4時
(火曜日は除く)
- 利用申込 利用日の1週間前より予約開始
(電話予約、協会窓口)
- 設置自転車 電動アシスト自転車3台
シティサイクル3台
- 利用範囲 三木駅を中心に概ね半径5km圏内
(別紙地図の範囲)に限る

三木市観光協会ホームページにて利用規約等をご確認の上、ご予約ください。

当日、窓口にて、申込書にご記入いただきます。

「マイ箸づくり体験」のご案内

鉋（かな）を使用し、あなただけのオリジナル箸をつくってみませんか？

開催日：2月24日（土） 3月23日（土）

時間：午後1時30分～3時30分

(受付：午後1時～)

会場：旧玉置家住宅

(三木市本町2丁目2-17)

体験料：1,500円

対象：小学3年生以上

定員：各日8名(要予約)

申込先：(一社)三木市観光協会

0794-83-8400



お問い合わせ 一般社団法人 三木市観光協会

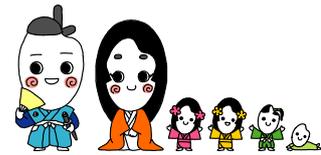
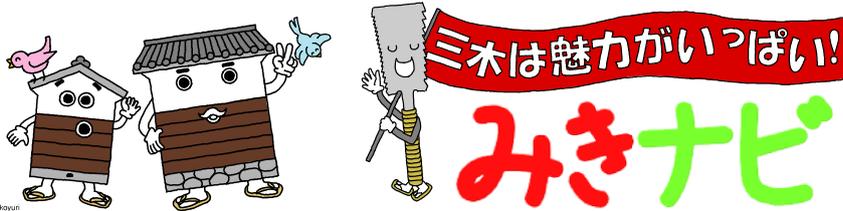
〒673-0403 三木市末広1丁目1-35

TEL:0794-83-8400 FAX:0794-82-6636

定休日 火曜定休(祝日の場合は翌平日)

<https://www.mikishi-kankou.com/>

営業時間 午前9時～午後5時



一般社団法人三木市観光協会では、観光協会情報誌「みきナビ」を発行します。

第2回あなたの三木「三木の季節」写真展

三木の春夏秋冬の移りゆく季節の瞬間や好きな季節など、それぞれの視点で撮影した写真を募集した“第2回フォトコンテストあなたの三木「三木の季節」”の入賞作品及び応募作品の一部を展示します。期間中には、入賞者の表彰式も開催予定です。是非、ご覧下さい。

- <開催期間>3月16日(土)～4月14日(日)
- <開催場所>旧玉置家住宅(三木市本町2丁目2番17号)
- <時間>午前10時～午後4時 火曜日休館

昨年度開催、フォトコンテストあなたの三木「三木の季節」入賞作品



<金賞1作品>



<銅賞2作品>



<特別賞5作品>

お雛さま展スタンプラリー

お雛さまを展示している6会場を回って楽しむスタンプラリー。全ての会場を回ってスタンプを集めると素敵なプレゼントを進呈。

- <開催期間>2月25日(日)～3月10日(日)
- <開催場所>中央公民館、旧玉置家住宅、旧小河家別邸、金物資料館、堀光美術館、みき歴史資料館
(各施設の開館時間・休館日が異なりますので、ご注意ください。)
- <参加方法>各会場で希望者にスタンプ用の台紙を配布
- <景品交換>各会場先着200名
全ての会場を回って好きな会場(1会場)でプレゼントがもらえます
(旧玉置家住宅と旧小河家別邸のプレゼントは、みき歴史資料館で交換)
- <スタンプラリーの問い合わせ先>みき歴史資料館 0794-82-5060



旧玉置家住宅

玉置家所蔵のお雛さまを展示します。

- <住所>三木市本町2丁目2番17号
- <開催期間>2月21日(水)～3月14日(木)
- <時間>午前10時～午後4時
入館無料
- <休館日>火曜日



旧小河家別邸

豪華な飾りをご覧ください。

- <住所>三木市本町3丁目6番24号
- <開催期間>2月8日(木)～3月31日(日)
- <時間>午前10時～午後4時
入館無料
- <休館日>月～水曜日



E-bikeで行く三木市発見！サイクリングツアー ～歴史ある旧街道と美しい田園風景を巡る～ (2023年10月14日(土)) レポート

今回のイベントは、E-bike（電動アシスト付きクロスバイク）・ヘルメットも全て用意しており、手ぶらで参加しE-bikeを体験していただくサイクリングツアー（フォトサービス付き）でした。公認サイクリングガイドが同行し、旧街道（湯の山街道・ひめぢ道）や別所ゆめ街道のサイクリングコースを巡りました。各スポットで写真撮影もあり。参加者の皆さんといっしょにツアーに同行しました。その様子をご紹介します。

集合&事前説明

三木市文化会館駐車場に集合。出発前には、服装チェック（ズボンの裾や靴紐が車輪に巻き込まれないよう確認）やサイクリング・乗車安全管理の基礎知識などの約30分間のオリエンテーション。ツアー中、先導するガイドが出すハンドサインを教わり確認。グループで一列になり走行するサイクリングツアーでは、前を行く人が示すハンドサイン（停止や障害物回避など）が重要。そして、いざE-bikeに。参加者それぞれ合わせたE-bikeが準備されていました。初心者はブレーキやシフトチェンジ（変速操作）の仕方を教わり、試乗。普通の自転車とは違い、乗り方降り方から練習。



子午線塔時計台→湯の山街道（戎神社・湯の山街道）→三木城跡→ひめぢ道

さあ、出発。まずは、恵比須駅前にある子午線塔時計台まで。文化会館から恵比須駅までは下り坂。早速シフトチェンジをしながらの走行です。走行中は、ツアーガイドが交通ルールやシフトチェンジのタイミング等を指導。子午線塔時計台では、ツアーガイドの説明を聞きながら、皆さん説明板に興味津々。東経135度子午線が通る市の説明板の前では、「東経135度子午線が通る市を巡るサイクリングツアーも楽しいかも。」との感想も。次は、子午線塔時計台から湯の山街道を通り三木城跡へ。戎神社や稲見酒造前など各スポットで降車。途中には、ナメラ商店街から三木城跡へと向かう坂道。かなりの勾配がありますが、さすがE-bike。グングン、スイスイ登っていけました。金物資料館は時間の都合上、施設内の見学が出来ませんでしたが、入口にある「村のかじや」記念碑だけ見学。ここでも皆さん、たくさん写真撮影。そして、ひめぢ道を通り、別所の「ハーブ工房みきヴェルデ」「TeA HOUSE」を目指しました。



「ハーブ工房みきヴェルデ」「TeA HOUSE」→別所ゆめ街道→三木市役所（文化会館駐車場）

「TeA HOUSE」を目指す途中、稲刈り前の田園地帯で立ち止まりました。一面に広がる稲穂にしばし写真撮影。休憩スポットの「ハーブ工房みきヴェルデ」「TeA HOUSE」では、レモングラスティーのふるまいがあり、癒しの香りに「ほっ！と一息」。皆さんに喜んでいただけました。休憩後は、別所ゆめ街道を走行。途中、旧別所駅跡でも写真撮影。真っすぐ続く廃線跡、今回は下石野側まで行けなかったため、案内板を見ながら旧三木鉄道跡を解説。そして、三木鉄道記念公園前を通り、ゴールの三木市役所へ。そう、ツアーの最後は登り坂です。E-bikeの快適さを一番体験できる瞬間です。ツアーガイドの指示に従い、シフトチェンジをし、ゴール目指し走行。皆さん「最後にすごい坂が待っていた！」と言いながら、笑顔でゴール出来ました。



天気予報には傘マークがあり順延になるかと心配しましたが、無事に開催することが出来ました。今回参加し、日々、目にしている私たちにとっては何気ない風景が、他の地域から来られた方には一つの観光スポットになるのだと再認識する機会になりました。実った稲穂・稲刈り作業の風景、「今の時期しか見られない貴重な風景ですよ。」と参加者の皆さんから教わりました。そして、E-bikeで巡ることにより、まち歩きとは違う「三木」を感じる事が出来ました。今回は午前・午後と2部開催のため、参加者の皆さんには、少し時間が物足りなかったようで、「三木市は知っていたけど、こんな街道やサイクリングコースがあるとは知らなかった。また次回ゆっくりとサイクリングしながら、各施設も見学したい。」と感想をいただきました。参加者にはアンケートに協力いただきありがとうございます。今後活かしていきたいと思っております。



玉置さん家のお酒まつり (2023年12月3日(日)) レポート



12月3日(日)、「玉置さん家のお酒まつり」を4年ぶりに開催しました。会場は、旧玉置住宅外庭。歴史情緒あふれる三木の町屋で、風味豊かな日本酒と地元グルメを楽しんでいただくイベントでした。その様子をご紹介します。

お酒の有料試飲

三木市産の「山田錦」を使った約50種類の銘酒を飲み比べ。特別試飲・3銘柄の利き酒・日本酒カクテルをご用意しました。各銘柄の酒度・酸度・特徴を記載したリストを作成。そのリストを見ながら、お好みの日本酒を選んでいただきました。ずらっと並んだ日本酒を前にして、「どれにしようかな?」「さっきはこの3銘柄飲んだから、次はこれ!」とリストにチェックを入れながら楽しめる方も。



地元グルメ・地酒の販売

今回のお酒まつりは、お酒に合う人気グルメを「三木食づくりの会」が全面協力。事前に日本酒に合うメニューを考え、販売していただきました。また会場では、三木市産山田錦を使用した各地の地酒も販売。今日飲めないけど自宅に帰ってから日本酒を楽しみたいという方や、試飲し気に入った日本酒をお土産にとご購入いただきました。



お楽しみ抽選会

ステージでのコンサートも終わり、最後は「お楽しみ抽選会」です。当日地元グルメをご購入いただいた方を対象に抽選券をお渡ししました。自分の番号が読み上げられると、当たった方は「はい!」と手を挙げ、ステージまで。



日本酒を楽しむ演奏

午前は「歌謡ショー」で、宮本とし美さんにご出演いただきました。地元三木への愛情いっぱいの宮本さんの歌。皆さん日本酒を味わいながら、曲に合わせて手拍子や掛け声あり。午後は「ミニジャズコンサート」で、Piano&Vocal Jazz Duo 河津陽子さん(ヴォーカル)・河村孝彦さん(ピアノ)に2ステージご出演いただきました。

「玉置さん家のお酒まつり」といえば、ジャズコンサートが恒例になっています。素敵な歌声とピアノの音色。ラストには、アンコールもあり、リクエスト曲「White Christmas」を急遽追加で演奏してくださいました。



- 動く市川町の「愛アン8-10号」によるイベント開催や市川町の特産品販売も行われました。
- 三木市で開催される「SAGA2024 馬術競技会」のPRコーナーも設置。



当日は、寒い中、多くの皆様にご来場いただきました。ありがとうございました。「久しぶりやね。」「開催されるの待ったよ。」と、うれしいお言葉もいただきました。4年ぶりの開催ということもあり、観光協会スタッフ一同、ドタバタしており、途中席が足りなくなるなど、ご迷惑をお掛けする点もありました。皆様のご協力があり無事に終了できましたこと、改めてお礼申し上げます。